

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	生きがい創造事業		コード	担当課	福祉事務所	高齢者福祉係
事業実施期間			02-01-04-01	担当者	行正英仁	
総合計画事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり	電話	64-1827		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり				
	小項目	社会福祉				
	施策	介護予防事業の推進				

事業について	
目的	在宅高齢者の知識と経験を生かし、その能力と意欲に応じた生産又は創造的活動によって生きがいの高揚を図ることを目的とする。
対象(誰のために)	高齢者
内容	陶芸教室・木彫教室・園芸教室

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
陶芸教室教室生	27人		
木彫教室教室生	28人		
園芸教室教室生	24人		

事業費(単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	424	国庫補助金等	282	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	500	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	924	一般財源等	642	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.10	人		人
結果指標名	陶芸教室教室生			
結果指標量	27			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	406,000	円		円
単位当たりコスト①	15,037	円		円
結果指標名	木彫教室教室生			
結果指標量	28			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	286,000	円		円
単位当たりコスト②	10,214	円		円

事業の成果			
成果指標名	受講率	式又は説明	各教室の教室生の定員は30人づつであり、受講率を向上をめざす。
	17年度		
成果指標量	87.77		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成21年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 生きがいと創造の事業実施要綱	現在の受講者は主に老人クラブ会員であるが、高齢者を対象に幅広く募集、あるいは、老人クラブに委託している事業実施を、老人クラブに移管することが必要である。
市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	材料費等は教室生の負担であるが、講師料については市の負担となっている。受益者負担の必要性を検討する。
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	現在、陶芸・木彫・園芸の各教室を行っているが、高齢者のニーズの掘り起こしを行う。
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分
コメント	高齢者が文化活動を通じて生きがいを持って生活することは、介護予防の観点からも重要であるが、市の事業として実施すべきかは検討の余地がある。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	28	結果指標量②	29
目標値	結果指標量	92	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	老人クラブに事業を移管する		自主活動により、高齢者の生きがいを推進する。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。